

旭医大病院看護部長
(副院長)を3月に定年
退職後、6月25日の会長
選を経て平山妙子前会長
からたすきを継いだ。
協会は本年度、3つの



重点事業の1番目に、地
域包括ケアシステムの構
築と推進を掲げた。広い
本道の各地で活動する多
職種との協働へ向け、看
護師同士はもちろん、保

道看協会長に就任した

上田 順子氏



健師や助産師との連携を
強化し、三師会との共催
シンポジウムを今年も開
催する。働き続けられる

職場づくりの推進も柱の
一つで、看護師等届出制
度と地域応援ナース事業
の役割に期待する。
ナースセンターへの届
け出は昨年10月の制度開
始から約2千人に達し、

「働き続けられる」を支援

再就職につながる例も増
加。「離職しても、看護
職として地域で働き続け
られる制度。協会がいつ
でも支え、つながってい
ることを伝えたい」。地
域応援ナースは「若い潜
在看護師以外にも、シニ
ア世代の活用で支援の幅
が広がる」と望む。

キャリア開発の支援と
看護職の質の向上も重点
で、各種研修等の充実を
図る。地域で働いてきた
自分がかつて恩恵を受け
たように、「各地の若い
看護師がたくさん学べる
場を今後も提供していき
たい」と意気込む。